

ちゅうのう れんけい
中濃地域連携企画展

関市
郡上市
美濃市

ぐじょうざお みのわし 「郡上竿と美濃和紙」

2017・9・12(火) → 11・5(日)

会場 岐阜県博物館 本館・企画展示室

時間 9:00～16:30(9～10月)

9:30～16:30(11月) いずれも入館は16:00まで

休館日 毎週月曜日

但し9月18日(月・祝)・10月9日(月・祝)は開館

9月19日(火)・10月10日(火)休館

入館料 9/12～9/14: 一般 330円、大学生 110円

9/15～11/5: 一般 600円、大学生 300円

いずれも高校生以下無料

特別展「壬申の乱の時代」会期(9/15～11/19)は特別展入館料となります。

上記料金ですべての展示(特別展・常設展)がご覧いただけます。



岐阜県博物館では、地域連携・協賛事業として中濃地域3市(関・美濃・郡上)の特集展示を実施します。

この地域を流れる清流長良川は、豊かな水産資源の源であるだけでなく、生活・水環境・漁業資源が連関する里川のシステム「長良川システム」として世界農業遺産「清流長良川の鮎」に指定されています。美濃市周辺の和紙生産と岐阜市の紙製品の例に見るように、長良川はまた、上流の物産を下流へと運ぶ産業の動脈でもありました。

今回の展示では、中濃の長良川が育んだ文化の中から、鮎釣り・溪流釣りの名品として名高い郡上竿と、ユネスコ無形文化遺産として有名な美濃和紙を紹介します。

見どころ① 近代友釣り技法を長良川に移入した山下福太郎の山下竿

鮎釣り・溪流釣りの名品といわれる「郡上竿」のルーツ「山下竿」を新発見含めて3本も展示

見どころ② 写本・版本・絵画…いろいろ集めた『美濃紙抄製図説』

伝統製法が変らずに受け継がれた様子がわかる明治期に編纂された製紙技術の図入り解説